

卒業生へのインタビューを行った際、同席された先生から貴重なご意見をいただきました。
そのご意見を「先生の声」としてお届けします。



都立立川高校天文気象部顧問
可長清美先生

初めてこちらのコンテストに出場したのは2019年、視程観測機を製作した時でした。国内の一般的なコンテストでは、地道な気象観測は、派手な生物の実験や化学反応の実験などに比べると、どうしても注目されにくいところがあります。観測の苦労や自分で観測して得たデータの価値を理解してくれる人も多くはありません。当時、私は学校をSSH(スーパーサイエンスハイスクール)として率いていかなければならないプレッシャーの中に

いました。このコンテストに来た時、本当に涙が出るほど嬉しかったのを覚えています。

選考委員の先生方は、ご自身も現場を知る「観測のプロ」でした。だからこそ、ものづくりの苦労も、毎日観測を続けることの大変さも、すべて分かってくださいます。私たちの作品を見て「これはすごいね」と言ってもらえた時、大げさでなく「生きていて良かった」と思えるほど、本当に救われるような、嬉しい体験でした。

また、このコンテストの素晴らしいところは、アイデアをポジティブに評価してくださる点です。近年、SSHが増えたこともあり、世間では「まだ結果が出ていないのか」と研究者並みのシビアな評価を求められることも少なくありません。しかしここでは、たとえ未完成であっても「このアイデアは面白い!」と可能性を認めてもらえる。これは他のコンテストにはない、本当に貴重な姿勢だと思います。さらに、製作助成金をいただけるおかげで、生徒たちが予算を気にせず、遠慮せずに様々な挑戦ができる環境があることも、大変ありがたいです。

今の時代、デジタルデータの活用が進み、ネットを使えばすぐにデータが手に入ります。その反面自分たちの手でコツコツと「観測そのものをする」経験をしたり、ものづくりをしたりする子どもたちが減ってきていることに、理科系教員として危機感を抱いています。だからこそ、このコンテストは日本の観測教育において、ものすごく重要な役割を担っていると確信しています。もっと多くの人にこの存在を知ってほしいですし、これからもぜひ、ずっと続けていただきたいです。

都立立川高校の作品と受賞歴

開催年度	作品名	受賞名
2019 年 第 8 回	視程観測機 “Clear Sky ”	代表理事特別賞
2020 年 第 9 回	富士山観測装置 FUYOU (芙蓉) FUjisan Yokumieru Observation Unit ～富士山の見え方と気象現象の関係を探る～	優秀賞
	「見えてる? !」視程の新たな観測方法の開発とその分析 ～観測装置を自作・改良し、50 年間続いた視程観測を再開してその傾向を探る～	
2021 年 第 10 回	MokMok 雲 Weather ～積乱雲の位置推定を目指す～ 視程観測の自動化と気象観測システムの構築	最優秀賞
2022 年 第 11 回	光害の可視化 ～街明かりが夜空に与える影響～ 視程観測の自動化と気象観測システムの構築	優秀賞
2023 年 第 12 回	流星観測装置「TenGu」の制作 ～ビデオと電波による流星自動観測システムの構築～	最優秀賞
	視程観測の自動化と気象観測システムの構築 ～視程目標物の同時判別の試行と web データベースの開発～ 光害の可視化 ～街明かりが夜空に与える影響～	衛星賞
2024 年 第 13 回	流星観測装置「TenGu」ver2.0 の開発	最優秀賞・ 佐々木嘉和賞
	視程観測の自動化と気象観測システムの構築 ～WEB データベースの構築と視程データの新たな分析～	
	光害の可視化 ～街明かりが夜空に与える影響～	
2025 年 第 14 回	機械学習を用いたスプラウト自動観測システムの構築	優秀賞
	富士山観測装置 FUYOU (芙蓉) V2 FUjisan Yokumieru Observation Unit version.2	
2026 年 第 15 回	流星分光観測装置「RAKUSEI」の製作と立川 HRO の構築 ～ビデオと電波を用いた流星群の分析～	最優秀賞
	MeISEKI ～街明かりが夜空に与える影響を探る～ 流星分光観測装置「落星」ver2.0 の開発 “Ryusei Analysis Kit” for Unveiling Spectra of Excited Impactors 富士山観測装置 FUYOU (芙蓉) V3	